

地震がおきたら...

緊急地震速報

強い揺れが予想される数秒から数十秒前に、テレビやラジオ、市の防災行政無線や携帯電話等で「間もなく強い揺れがくること」を知らせてくれます。ただし、震源に近い地域では、強い揺れに間に合わないことがあります。

Point

川口市では、「震度5弱以上」の揺れが予測された場合に緊急地震速報を防災行政無線やきらり川口情報メールでお知らせします。
※本システムは、Jアラートからの配信となります。

地震発生

地震だ！
身を守れ！

強い地震を感じたら、まずは自分の身を守りましょう。

- 机の下などへ避難しましょう。
- 家具の転倒、ガラスの飛散や落下物などに注意しましょう。

地震発生から
1~2分

火の元よし！
家族は無事かな？

揺れが収まってきたら、火の元を確認して避難経路を確保しましょう。

- 火を消し、ガスの元栓を閉めましょう。
- ドア等を開けて、避難経路を確保しましょう。

Point

過去の大地震では、火を消そうとして火傷などのケガをした方がいます。まずは身を守り、揺れがおさまり安全を確保してから火を消しましょう。

逃げる前に
持ち物
チェック

地震発生から
2~10分

避難経路を確保した後は、避難の準備をしましょう。

- 非常持出品を用意しましょう。
- 家が倒壊しそうな時など、家にいることが危険な時は、一とき避難広場(公園)に避難して余震に備えましょう。
- 出火防止のため、電気のブレーカーを切りましょう。
- 自宅を離れるときは、行き先を書いたメモを家族で決めた場所に隠しましょう。

Point

強い揺れの後には、電気のブレーカーを切りましょう。近年の大規模地震時の火災は、電気による出火(通電火災)が高い割合を占めています。

地震発生から
数時間

お隣さんは大丈夫かな？

地震発生から
数時間~

避難生活への移行

- 隣近所の安全の確認をしましょう。
- 一人暮らしのお年寄りなど、避難に周囲の支援が必要な場合には積極的に声をかけて安否を確認しましょう。
- 近隣住民と協力して、初期消火や救出活動をしましょう。
- ラジオやインターネット等で災害や被害情報を確認しましょう。

地震発生から
数時間~

- 状況が落ち着いてきたら、自宅の被害状況等を確認し、今後の避難生活をどうするか、判断しましょう。
- 自宅に入る前には、建物や周りの安全を確認し、余震にも十分注意しましょう。
- 避難生活では「分散避難」にご協力をお願いします。

Point

~分散避難~
自宅に倒壊や火災の危険がなければ「在宅避難」、自宅が危険な場合は「指定避難所」や「親戚宅」などそれぞれ適した場所で生活しましょう。

災害時に自分を守る「自助」の力!

自助

大地震が起きた時、その強い揺れの中で、自分の命を守るのは自分自身です。「防災グッズの用意」や「家具の転倒防止」など、自分の日々の生活に合わせた「自分のための防災」で備えておきましょう。

災害時にお互いに助け合う「共助」の力!

共助



~ 災害に立ち向かうための3つの力 ~

「自助」
自分で自分の身を守る

「共助」
家族や地域で助け合う

「公助」
行政が行う救助や援助

災害時の共助
(家屋からの救助)



発災後、「公助」の力が届くまでには時間がかかります。過去の災害では、救助が必要になった被災者の多くが、「共助」の力で救出されました。「共助」の力を発揮するためにも、それぞれが「自助」の力で自分自身を守りましょう。



災害時の共助
(負傷者への手当)